



大井町議会だより

2018. 11. 1 No.197

ひよだん

正副議長改選	2
第3回定例会・第3回臨時会	4
平成29年度決算認定	
9月13日から26日の14日間	
一般質問　ここが聞きたい（5人）	9
委員会活動報告	12
中学生議会	13
10人の中学生議員が登壇	
町のこの人あのひと	14

町の自然遺産「里山」に取り組む
相和もりあげ協議会

こみや しんいちろう
小宮 真一郎さん



第3回中学生議会の議員

E-mail gikai@town.oi.kanagawa.jp / URL <http://www.town.oi.kanagawa.jp/gikai/>

この広報は、再生紙を使用しています。

第3回定例会は、9月13日から26日までの14間の会期で開催され、平成29年度の6会計の決算、平成30年度の6会計補正予算などの審議をしました。

また、行財政全般にわたる一般質問には5人の議員が登壇し、町の考えを質しました。

最終日には、議員間の申し合せにより、議長・副議長の選挙を行いました。

議長選挙の投票前に体憩をとり、正副議長志願者の所信表明を行いました。この所信表明では、熊田議員と細田議員とが議長を志すスピーチを行いましたが、その他の志願者はなく、直ちに投票願者はなく、直ちに投票を行つた結果、細田勝治議員が議長に当選しました。次に副議長選挙を行ない、伊藤奈穂子議員が当選となりました。

その後、常任委員会の委員等の改選を行い閉会しました。

正副議長選挙の結果

(投票総数は、ともに14票)

副議長選舉

曾根田 徹	熊田 和人	細田 勝治
1 票	3 票	10 票
無 効 票	熊田 和人	伊藤奈穂子
2 票	2 票	10 票



副議長 伊藤 奈穂子



ほそだ かつじ
細田 勝治

就任のあいさつ

町民の皆さん、日ごろから議会の活動には、多くの
関心とご協力をいただきまして、心より御礼申し上げます

私たちは、このたび第3回定例会での正副議長選挙の結果、大井町議会議長と副議長に選出され、就任いたしました。職務の重責を担い、責任を全うしていく

さて、議会の役割の一つに「行政監視機能」があります。町政は平成32年度までの「おおいきらめきプラン」の最後の第4次実施計画に入っています。中央土地区画整理、未病バレーB I O T O P I A、都市計画道路金子開成和田河原線、教育施設の整備・改修による教育環境の充実等計画が目白押しですが、議会としてしっかりと行政をチェックしてまいります。

もう一つの役割は我々議員の「政策立案」の充実強化です。議員は議会活動を通して、活発な議論の応酬が要求されます。それには一人一人の議員が町民の皆さまと話合い、要望を聞き、それを町政に反映させるよう、お互いに研鑽してまいります。

これからも町政とは公平かつ円滑な議会運営で対応してまいります。微力な私たちですが、町民の皆さまのご期待に応えられるようがんばつてまいります。ご支援をよろしくお願ひいたします。

議長に 細田 勝治 氏 を選出
副議長に 伊藤 奈穂子 氏

委員会等の構成

教育福祉常任委員会

委員長	清水 豊司
副委員長	清水 亜樹
委員員長	鈴木 武夫
委員員長	瀬戸 和雄
委員員長	曾根田 徹
委員員長	伊藤 奈穂子
委員員長	熊田 和人

企画経済常任委員会

委員長	牧野 一仁
副委員長	田村 俊二
委員員長	石井 勲
委員員長	小田 真一
委員員長	北村 正夫
委員員長	細田 勝治
委員員長	諸星 光浩

広報常任委員会

委員長	伊藤 奈穂子
副委員長	田村 俊二
委員員長	瀬戸 和雄
委員員長	曾根田 徹
委員員長	清水 亜樹
委員員長	牧野 一仁

議会運営委員会

委員長	石井 勲
副委員長	清水 亜樹
委員員長	瀬戸 和雄
委員員長	牧野 一仁

一部事務組合選出議員

足柄東部清掃組合議会議員	細田 勝治
足柄上衛生組合議会議員	清水 豊司
足柄東部清掃組合議会議員	牧野 一仁
足柄上衛生組合議会議員	伊藤 奈穂子

※小田真一議員は10月1日付
で議員辞職。



会計		歳入	歳出	差引
一般会計		57億0,028	53億4,282	3億5,746
国民健康保険 特別会計		21億8,207	18億7,844	3億0,363
後期高齢者医療 特別会計		2億0,886	1億8,656	2,230
下水道特別会計		6億3,266	5億9,191	4,075
介護保険特別会計		10億6,273	10億3,822	2,451
水道事業 会計	収益的 収支	3億0,259	2億5,112	5,147
	資本的 収支	0	1億2,841	△1億2,841

※金額は端数を調整して、万単位にしています。

平成29年度決算認定は、一般会計と4つの特別会計、1つの企業会計について町長から実績報告があり、また監査委員から監査報告がなされ、引き続き課長から要点に触れ、説明が行われました。員長報告後、曾根田徹議員の反対討論、熊田和人議員の賛成討論があり、賛成多数で認定しました。その他5会計においても賛成全員または賛成多数をもって認定しました。

決算審査ダイジェスト

一般會計

歲入全般

問 実質公債比率は29年度まではよくなつてゐる。元利償還金が減つてゐるからか。

答 20年度以降は大きな事業債はないが、25年度以降は学校改修事業債等の償還分が計上されるので比率は増加傾向になる。

答 ている要因は、
利用回数は前年より
減っているが、加算分が
増えた。

後も増える見込み。
利用者は、ほとんど町外からの転入者である。

答 商工会の補助金は50万円。ジャム、フエイジヨア酒を開発。フエイジヨアの出荷量は28年年度が121kg、29年年度は148kg。拡大の金額の内訳は。

問 情報モラル教育の委託先は。その内容は。

ト。内容はネットトラブル、ネットモラル等につ

いての指導を行う。大井小高学年とその保護者、相光中全生徒。

スマートホンの所有率が高く、ネット利用率も高い。

国民健康保険法

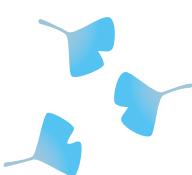
国巨健肩保障特別会計

問 一ノ辻の総代費が増額している理由は。

が、被保険者上位10人で全体の約8%を支払っている。

国民健康保険特別会計

第3回定例会



問 一人当たり医療給付費の県内での順位は。

答 28年度は一番低い。

大井町の医療費はかかつてない。

下水道事業特別会計

問 地方公営企業法適用業務はどこまで進んだか。

答 32年度からの移行を目指しているが、29年度で資産の把握が完了した。

問 固定資産総額は。

答 28年度末で約108億円。職員では不可能なのでコンサルに依頼した。

介護保険特別会計

問 地域密着型介護予防サービスは何人か。

答 対象者は1名であり、今後もサービス利用は想定される。

地域密着型介護予防サービスは、町のふるさと納税は、総務省の発表で寄附額に対し高い割合の返礼品を送っていると指摘された。町も早急に対応をするとしているが、寄附の在り方を考えたら返礼品を行うことについて見直すべきだ。
以上、私からの反対討論とする。

平成29年度 一般会計決算 討論

事業の取組み方に問題あり

曾根田 敏

賛成討論

熊田 和人

厳しい財政の中、健全な町政運営に評価

平成29年度の歳入総額は約57億28万円、歳出総額は約53億4282万円、差引額3億5746万円、282万円となり、前年度と比較して差引残額は増額になるが、町歳入を見たとき、町民税では個人の歳入額としては減少傾向にあり法人も減少している。減収が続いていることを考えたら町の景気は回復に至つておらず、雇用の伸びはあっても個人所得収入が伸びているとは考えられない。

移住定住として、お試し住宅を行い体験料として6件26万円の歳入があるが、住宅維持管理委託料29万円、住宅用空き家借上げ料20万円等の歳出を見たとき財源はマイナスとなる。事業としては利益を求めるものではないが、事業を行なう上では結果は求められるものである。HP上の予約状況を確認すると利用者はいるが、移住・定住につながつていなることは反省すべきだ。

食と交流体験では、NEALリーダーの講習会を開催するなど人材育成をし、交流体験、モニター民泊も実施しているが、特に食のブランド化としてご当地弁当の販売やフェイエジヨア販路拡大、生産技術向上により出荷量は増えているとしているが認知度は低いと考える。町もPR活動をして周知しているのであれば、町民の8割以上が知る事業を目指すべきだ。

歳入においては、町税では軽自動車税が增收になつたが、個人分、法人分それぞれ減収になり、固定資産税やたばこ税も減収となり厳しい状況が続いているが、寄附金のふるさと納税は788万円の増加と明るい事例もある。最近国がふるさと納税の見直しも示唆しているので町当局も十分に制度を把握し寄附金が一層増加していくよう期待する。

歳出においては、おおいからめきプラン後期基本計画の2年目であり、町の大きなプロジェクトである大井中央区画整理事業と未病に係る未病バーレービオトピア第1期オープンに関する準備等の事業についても大きく進展を迎えた年度であった。また、大井町成長戦略については、着実に事業の推進がなされた。このような様々な施策・事業が効率よく行われ、町民の満足度は満たされていると確信する。

第3回定例会・第3回臨時会



介護保険
(第2号) (賛成全員)

更新など大規模な更新は後年度負担の観点から起債により行っていく。

*中條政夫氏は任期満了となるので再度選任するもの。
中條政夫（再任）
金子

人事

この陳情は、陳情者子育てサポートおうママの会 代表の大澤祥子氏から提出されたもので、教育福祉常任委員会に付託された。委員会審査にあたっては、陳情者から説明機会の要望があつたため、これを許可し、質疑応答を行つた。

問 子育て健康課長が土日開放が出来ない理由を述べていたが、出来るようにする考えは。

*予定価格を79338万円とし、12社を指名するも7社が辞退、1社が入札書不着のため4業者による入札の結果、荏原商事株神奈川営業所が7614万円で落札したため契約締結の承認を求めるもの。

後期高齢者医療
(第1号) (賛成全員)

*歳入は支払基金交付金
繰越金を計上。歳出は国
県等への介護給付費等の
精算分、介護保険給付費
準備基金の増額を計上。
歳入歳出 2336万円を
増額。

問 このポンプの交換は
突発的と考え予備費で行
うべきではないか。
答 水道事業会計の予備
費は、災害等の予期しない
事由に備えたい。

工事請負契約の締結

道路改良工事（町道50
1号線）（賛成全員）

本会議において委員会報告、討論後、採択の結果、賛成多数で「採択」と決した。

問 平成30年7月3日に担当部署にこの陳情と同じ要望を提出したが、回答の内容は。

副町長 将来のことは断言は出来ないが、今の段階では他の用途にこの施設を利用する所までは至っていない。

陳情



人件費等も掛かつて来る
ことから一筋縄ではいか
ない。

第3回臨時会

7月20日に開催され、工事請負契約の締結1議案を審議しました。

この陳情は、陳情者
子育てサポートおうママ
の会 代表の大澤祥子氏
から提出されたもので、
教育福祉常任委員会に付
託された。委員会審査に
あたつては、陳情者から
説明機会の要望があつた

問 自治会の活動に参加していれば気軽に相談も出来るのではないか。
陳情者 中々、所属している自治会以外のところに参加するには参加しづらい面がある。

7月20日に開催され、工事請負契約の締結1議案を審議しました。

下水道事業

水道事業
(第2号) (賛成12 反対1)

增額。

問 このポンプの交換は
突発的と考え予備費で行
うべきではないか。
答 水道事業会計の予備
費は、災害等の予期しない
事由に備えたい。

道路改良工事（町道50
1号線）（賛成全員）

本会議において委員会報告、討論後、採択の結果、賛成多数で「採択」と決した。

陳情者 文書で回答があり、内容は土日開放は考
じ要望を提出したが、回答の内容は。

言は出来ないが、今の段階では他の用途にこの施設を利用する所までは至つていい。

第3回臨時会・審議結果

問 設備の更新計画には、送水ポンプ等の更新が追加され、金額も予定より増えているが、ここ数年でやりくりは可能か。

答 計画策定から年数もたっており、新たな故障等もでてきている。今回は、重要施設であり優先して工事を行う必要がある。水道事業の全体を見た中で、可能という判断の中で事業を進めている。

問 3年後にまた値上げをするようなことはないか。

答 今後、管路の更新など経営戦略等を立てていく中で見直しをせざる得ない状況は出てくる。3年たつたから値上げするという安易な考えはない。

問 指名業者に町内業者がいない要因は。

答 工事の規模として7000万円を超えており、内容も大きいポンプ、吐出弁の交換で、この工事をできる業者を指名した。

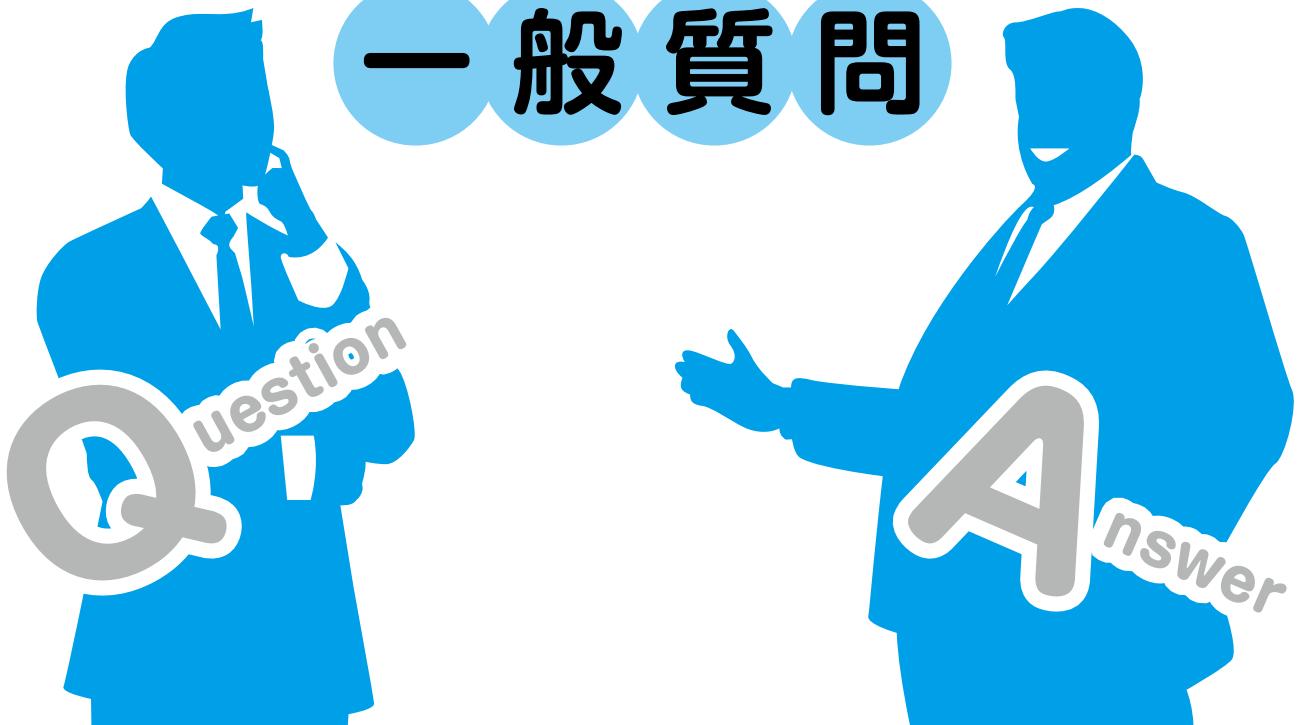
審議した議案と審議結果

○は賛成 ×は反対
小田眞一議長は、採決に加わりません。

臨時会の別	議案番号	議案名	議員名(議席順)と審議結果											審議結果		
			田村俊二	牧野一仁	熊田和人	清水亜樹	諸星光浩	伊藤奈穂子	曾根田徹	細田勝治	瀬戸和雄	北村正夫	清水豊司	石井武夫		
第3回臨時会	45	工事請負契約の締結について (第2浄水場送水ポンプ等更新工事)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
第3回定期会	46	大井町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	47	大井町小児医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	48	平成30年度一般会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	49	平成30年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	50	平成30年度後期高齢者医療特別補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	51	平成30年度下水道事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	52	平成30年度介護保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	53	大井町教育委員会委員の任命について同意を求めること	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意	
	54	平成29年度水道事業会計補正予算	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	55	工事請負契約の締結について (道路改良工事 町道501号線)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	認定1	決算認定について (平成29年度大井町一般会計)	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	認定	
	認定2	決算認定について (平成29年度大井町国民健康保険特別会計)	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	認定	
	認定3	決算認定について (平成29年度大井町後期高齢者医療特別会計)	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	認定	
	認定4	決算認定について (平成29年度大井町下水道事業特別会計)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定	
	認定5	決算認定について (平成29年度大井町介護保険会計)	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	認定	
	認定6	利益の処分及び決算認定について (平成29年度大井町水道事業会計)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定	
陳情1		住民交流拠点の整備(健康福祉センター土日開放)についての陳情書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	採択

ここが聞きたい

一般質問



任期満了を迎える町長の進退は

**次のステージに向け
町政を後進に託す**



清水 豊司 議員

財政運営に支障をきたす
事がなかつた。同時に、
市民の皆さんに大変窮屈
な思いをさせてしまつた
が「身の丈にあつた町政
運営」をしてきた。私も

問 12月21日に任期満了を迎える町長の進退は。

町長 長として今後の舵取りを誤つてはならない

ことが一番で、それには気力と体力が必要であると私自身考え持つている。大きな時代の変化に対応した、次のステージに向けた町政を新たな方に託すことが望ましいということを決断し、過日後援会総会にお諮りしてご理解を頂いた。

問 町長は「公正無私」を信条に5期20年の町政運営をされてこられた。この20年の町政運営をどのように振り返られるか。

町長 前任者の瀬戸町長時代に将来を見越した健全な財政運営をして頂いた。当時は大手法人から最高で年間12億円くらい

の税収があつたが、それが毎年入ると考えず、4億円から5億円ぐらい入るということをベースに、

府舎やいろいろなものを作つて私に繋げて下さり、画的に「身の丈に合つた町政運営」をして行くことを今後の町政を担う人にも願うところである。



次期町長に託された
中心市街地の区画整理

職員の皆さん、当時の助役、収入役、教育長といふ方々からあらゆる面でブレーキを掛けられ、手綱を引かれ、行政の課題解決の手法を教えて頂いた中で進めて来たことで、大きな誤りもなく今日を迎えることができた。計

にも願うところである。

問 新免許制度により、普通免許で消防ポンプ車両を運転できない団員が入団することとなる。免許取得に対する費用助成をするべきと考えるが。



消防団員の準中型免許取得に対する費用助成を

答 取得に対する費用助成を検討する

清水 亞樹 議員

問 消防団協力事業所表 示制度を導入する考えは 町長 団員の確保及び活動環境の整備を図る観点からも、今後導入に向け検討する。

問 団員確保に関して、相和地区は厳しい状況にあるが、定年引き上げや撤廃、また分団の編成を検討したことがあるのか
防災安全室長 地域や団員も課題と認識しており、町も地域から聞いている。今後、定年制や分団の再編等を検討していくきたいと考えている。

問 伝いなど普及活動を進めたいいただきたいと考える
いきいき・おおい・
健康ステーションの有効
活用は。
子育て健康課長 現在は
県の健康支援プログラム
を活用し、お米を活用し
た健康講座や、カルシウ
ム等の摂取セミナー等を
考えている。

トレーニングルームで
いい泣かこう！

問
募集のPRまた、国も費用助成は団員用助成に対し特別交付税を設けている。早急に検討する考えは。

防災安全室長　国や各自治体等の周りの状況を見ながら準備のほうを進めたい。

町長 導入自治体の状況や自治会及び消防団の意向を踏まえ、将来的な導入の検討を慎重に判断していく。

問 本町の未病対策の推進として取り組んでいる未病サポート・養成事業の今後の活動は。

町長 財政的なこともあるが、ぱっと心が引かれるようなアンケート、表示が必要である。今後に期待する。

町長 既にある既存の会議体を活用しながら機能的に取り組む。
問 未病を推進する条例をつくつては。
町長 決めごとを作るより皆が参加しやすい方法を考えしていくことだ。



消防出初め式で 日頃の訓練成果を披露する団員

トレーニングルームの有効活用は

伊藤 奈穂子 議員

問 合わせている。

町長 将来的には保健福祉センターで行っている未病対策事業の一環として活用出来ればと考える。未病の運営も、今後は効率化する考えは。

食や運動含め総合的に取り組むことで効果が上がると考える。

要性は。

問 未病を推進する条例
町長 既にある既存の会議体を活用しながら機能的に取り組む。

町長 をつくつては、
決めごとを作るよ
り皆が参加しやすい方法
を考えいくことだ。

トレーニング
いい汗かこ

問 第4次実施計画の成長戦略において次世代産業の共創ということで未病関連産業を特化して計画しているが、共創とは目標設定段階から町民・行政・大学等が、意見を出し合い共に創り上げていくものである。B I O T O P I A と点在する施設をどうリンクして活性化していくのである。

問 ブルックスHD、県町で基本協定が締結され、次の4つの役割が示された。①県西地域の他の市町との地域間連携を図ること。②本件施設との連携により、相乗効果を生み出すことができる取組みを推進すること。③本件施設が地域の交流拠点となるよう地域の住民、事



「まちづくり」に町民を交えたワークショップ等行うか

答 以前の「まちづくり会議」と同じように行っていく予定

諸星 光浩 議員

化していくかを町民や有識者など交えて検討していく考え方はあるか。

企画財政課長 B I O T O P I A に限らずまちづくり全体を市民、事業者、民間、そういう方々と話をする機会は、今後は絶対に必要になってくると考えている。

【B I O T O P I A の3者基本協定について】

絶対に必要になってくると考えている。



4月にオープンしたBIOTOPIAのマルシェ

O P I A に限らずまちづくり全体を市民、事業者、民間、そういう方々と話をする機会は、今後は絶対に必要になってくると考えている。

業者、民間団体との連絡調整を行うこと。④県との連携により、地域再生計画をはじめとする地方創生に関する国の制度を活用すること。

これらの役割内容及び現状と今後の計画は。

町長 施設の実態が伴つたことからイメージの共有が図られ、2市8町の回遊性の向上、秦野市との連携・協力の働きかけを行う。雇用の創出、産業機能の集積の一助となるようサテライトオフィスを整備した。また、移住定住促進のためお試し住宅を整備。相和地域では里山等の地域資源を活かし農家民泊を始めた食と体験交流事業のブランド化に向けた取り組みを推進している。

問 町と連携の自主防災訓練、真夏での日程変更是。

町長 各自主防災組織の意向を踏まえ、今後の訓練計画については関係機関とも議論し、参加者の体調管理にも配慮し実施していく。

問 菊川、上大井地内に入った付近から樹木が川にかぶさっている、氾濫の原因となる危険性が高い、現地調査し対策を講ずるべき。

問 町長任期と予算査定の最終局面と重なる、査定は骨格か、編成を完了するか。

町長 私が編成を進め、最終調整は政策的判断が必要になるため、新リード者が行うべきであり編成はタイトとなる。

31年度予算編成は骨格予算か

答 例年通り組む、最終調整は新リーダーで石井 勲 議員



町長 国土交通大臣が指



「菊川」上大井地内河川流域模様

問 町内河川、菊川・芭蕉川・勝利川の管理体制改めて町民に示していくたい。

防災安全室長 避難準備情報・勧告・避難指示等は。

町長 現地を見させる。ただし民地内の樹木は所有者に対応していただく。

問 大川カルバート付近、大雨の時危険である対策は。

町長 私が編成を進め、最終調整は政策的判断が必要になるため、新リード者が行うべきであり編成はタイトとなる。

都市整備課長 大川函渠拡張改良工事、詳細設計に向けてJRと協議しているが進まない状況。話しながら整備に向けて進めていく。

問 大規模災害時、町は受援体制について、防災計画に反映しているか。

町長 混乱の原因が「準備不足」にならぬよう研修・図上訓練・応援・受援体制の実効性を高めていく。支援物資の保管、人的支援の活動拠点となる受援機能を持つた防災備蓄倉庫を建設する方向で計画している。

行政視察報告

企画・経済常任委員会

7月10日から3日間の
石川県かほく市、羽咋市
富山県射水市観察の報告
する。



石川県かほく市

包括的民間委託

同市上下水道事業の人
口普及率は99%で、建設
事業中心から維持管理・
更新事業が中心になつて
いる。包括的民間委託は
市が水質等の水準を定め

それを市が監視するだけの民間との複数年契約である。

直売所として管理開始している。オル商品の開発やこかに商品の品揃えなど他の直売所別化を図っている。



石川県羽咋市
「農業法人株式会社」
み
こ
）
（



7俵に限定しており
の米と言われている。
神子原米のもう一つの
特徴は神子原の棚田だ。

スト削減を図り維持管理水準を確保することだ。広域行政の中での上下水道事業は、近隣4市町で広域連携事業を進めている。短期は計量器の共同調達、中期は施工業者指定等の共同化、長期は維持管理業務や窓口業務等とそれぞれの目標が明確になつてゐる。

五
会社

山の中腹から見る10haの棚田の景色は圧巻だ。大井町の高尾の棚田は5000m²ですので残念ながら比較にならない。

平成31年度までに人口3万人以上の市町村は移行が義務化され、それ以下の人団でも極力移行が必要だが、当町では32年度からの移行を目指している。射水市は人口9万3千人で平成24年度から企業会計に移行した。当町では既に水道事業で実施している。

移行に際しての課題は職員のスキルアップと予算措置、そして膨大な事務量の固定資産台帳作成と財務会計システムの構築だ。

射水市では今後の下水道事業として「射水市下水道ビジョン」を作成し、平成35年度までの10年間の目指すべき方向性を示した。「次代に引継ぐ健全な経営環境」は参考になるのではないだろうか。

市には健康新事業について。青森県南部町には「笑顔あふれる健康のまち」の取組みについて視察を行った。

大仙市の教育目標は、生きる力を育み、社会を支える創造力を育むまちづくりで、子どもたちの好奇心を揺さぶるために学校、地域、関係機関が連携を図り積極的に支援に取組むことで、学力向上につながっている。



教育福祉常任委員会

去る7月3日から5日

南部町の平均寿命は、男性78歳、女性86歳で全国平均よりも低く、糖尿病、腎不全、がんによる死亡、男女ともに自殺者も多く、介護保険も年々増加傾向にある。事業の

横手市には、大規模健康の駅【拠点型】が3箇所あり、トレーニング機材や運動指導スタッフが常駐、中規模健康の駅は公民館、小学校区単位で、小規模健康の駅は町内会単位で【地域派遣型】で、運動指導員や市民ボランティアを派遣し、地域交流等に取組み、課題として認知症対策、新規参加者、リーダー育成、費用対効果の検証を挙げていた。

横手市には、大規模健康の駅【拠点型】が3箇所あり、トレーニング機材や運動指導スタッフが常駐、中規模健康の駅は公民館、小学校区単位で、小規模健康の駅は町内会単位で【地域派遣型】で、運動指導員や市民ボランティアを派遣し、地域交流等に取組み、課題として認知症対策、新規参加者、リーダー育成、費用対効果の検証を挙げていた。



(曾根田 徹)



中学生議会

● 議員と質問事項 ●											
											議員 氏名
波多野	富岡	小島	後藤	笠原	小澤	栗原	原	深沢	一寸木	大智	拍真
颯人	晴	遼香	羽衣	蘭	十望	美佑	咲月	はら	かさはら	ひとも	ひあま
南部町の平均寿命は、男性78歳、女性86歳で全国平均よりも低く、糖尿病、腎不全、がんによる死亡、男女ともに自殺者も多く、介護保険も年々増加傾向にある。事業の	子どもの医療費について	大井町のPR活動について	駅周辺の環境美化・施設の充実について	大井町の教育設備について	町内のごみ箱・街灯の増設について	一般道路の設備について	子どもの医療費について	大井町の防災対策について	中学校のグラウンドの改修について	移動販売について	議員 氏名

今年で3回目となつた中学生議会が、8月7日（火）午前9時から開催された。後藤羽衣議長の進行のもと10人の議員が次々に登壇、議長も栗原咲月副議長と進行を交代し質問に立つた。

各議員は、持ち時間の15分内で、日頃感じている身近な問題や他の市町村の事例なども引き合いに出し、再質問も行いながら町への質問・提言を行つた。



○町のこの人あの人の○

町の自然資産「里山」に取り組む

相和もりあげ協議会



中屋敷地区
こみや しんいちろう
小宮 真一郎さん

● 小宮さんは中屋敷で生まれ育ち生糸の和つ子だ。早くから農業に目覚め父より借り受けた山を開墾し、ブルーベリー園を開園して14年になる。毎年3

● 小宮さんは中屋敷で生まれ育ち生糸の和つ子だ。早くから農業に目覚め父より借り受けた山を開墾し、ブルーベリー園を開園して14年になる。毎年3

少子高齢化、農家の担い手不足、里山や農地の荒廃、そして過疎化。その様な状況下で地域の活性化を図るために「相和もりあげ協議会」が発足した。そのリーダーとして活動している会長の小宮真一郎さんを紹介する。

● 相和盛り上げ協議会は農家民泊などにより大都市近郊である立地を生かし、首都圏より企業研修、体験型修学旅行生や一般旅行者を受け入れることにより、地域外からの資金を流入させ、地域の収入を増やすとともに地域の皆さんのがいづくりにつなげたいと活動を開始した。

● 「地域の資源」を保全し、次世代に継承していくために、タケノ

000人近くが来園するそうだ。

また、相和の豊かな自然の情報発信をするために相和もりあげ協議会がシイノキネットワークを立ち上げ、ホームページやフェイスブックで美しい里山や神社にある樹齢100～800年の椎の木やタブノキの紹介もし

● 小宮さんの今後の想いは、この活動に参加して相和地域をくまなく歩き、改めて相和の歴史、文化と豊かな自然を知ったという。特に「鎮守の森」と呼ばれて大切にされてきた森は日本の中でも失われつつあり、先人たちが残してくれたありがたさを強く感じている。今、新たに椎の木を植樹し後世に残し伝えることが自分の使命と考えているとのこと。

コ堀、梅もぎ、稲刈り、芋ほりなどを増やす事業を行っている。小宮さんはいち早く民泊を受け入れるために救急蘇生法講習を受講し現在受け入れも試行したこと。

● 小宮さんの今後の想いは、この活動に参加して相和地域をくまなく歩き、改めて相和の歴史、文化と豊かな自然を知ったという。特に「鎮守の森」と呼ばれて大切にされてきた森は日本の中でも失われつつあり、先人たちが残してくれたありがたさを強く感じている。今、新たに椎の木を植樹し後世に残し伝えることが自分の使命と考えているとのこと。

9月に開催された定例会で永年町のかじ取り役として活躍された間宮町長が今期限りで退任すると表明されました。お疲れ様でした。

平成の元号も来春で終り時代が大きく変わろうとしている感じがします。議会も小田議長の辞任により、新しい議長が誕生しました。同時に常任委員会の構成も替わり、議会だよりの編集委員も替わり残りの任期を新たなメンバーで分かりやすい紙面づくりを心がけたいと考えています。



400年もの間、地域を見守り続けるシイノキ

町政を知る良い機会です

議会傍聴にお越しください

11月20日(火)午前9時 第4回定例会開催

問合せ先：議会事務局 ☎85-5000 FAX85-3936



新たな広報常任委員です。
(氏名は、P 3に掲載)

牧野 一仁

編集後記